



# いばらき県議会だより

No.188

茨城県議会  検索  <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>  
 ※ホームページでは本会議及び予算特別委員会を生中継及び録画中継しています  
 県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>  
 「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/> 本会議及び予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会  
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
 Tel.029-301-5646 [年4回発行]

## 茨城空港から、この夏どこへでも!

### 7月18日から那覇便が増便!

茨城空港からは現在、札幌便、名古屋便、神戸便、米子便、福岡便、那覇便、上海便が就航しています。  
 さらに7月18日から8月31日の期間は、那覇便の増便運航(中部経由便)が決定し、1日2往復運航することになりました。  
 茨城空港からの夏の空旅が、ますます便利になります。  
 この機会にぜひ、茨城空港をご利用ください!



### 茨城空港からリゾート沖縄へ!

	茨城 → 那覇	那覇 → 茨城
<b>中部経由便</b>	7.18~8.30(日曜運休) SKY 537 18:50 → 22:30	7.19~8.31(月曜運休) SKY 530 06:00 → 09:40
<b>神戸経由便</b>	毎日運航中 SKY 533 12:30 → 16:35	毎日運航中 SKY 534 12:30 → 16:20 (2014.06.13現在)

### IBRマイエアポートクラブ 入会費・年会費無料

**会員募集中!** QRコードを読み取って空メール送信!  
 【会員特典】茨城空港の最新情報のメルマガ配信やコーヒー引換券プレゼントなど  
 ◎2015.03.15 搭乗分まで  
**さらに今さら 会員限定キャンペーン実施中!**  
 茨城空港発着の航空便10回(片道換算)ご利用で  
**『1万円キャッシュバック』&『茨城県特産品プレゼント』**



【お問い合わせ】 茨城空港利用促進等協議会 TEL.029-301-2761(平日 8:30-17:15)

茨城空港ホームページ [www.ibaraki-airport.net](http://www.ibaraki-airport.net)

茨城空港

検索

@IBR\_airport

茨城空港 Ibaraki Airport

### 今定例会の概要

平成二十六年第二回定例会は、六月四日から十七日まで十四日間の会期で開かれました。

議案は、議員から公務員獣医師の処遇改善を求める意見書など、知事から茨城県いじめ再調査委員会条例などが提出されました。

一般質問は、県南地域の発展効果の県全体への波及、県央地域の将来像、地域ぐるみで犯罪被害者を支援する社会を育む、新県立特別支援学校整備計画のポイントなどの項目について行われました。(一・二面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事項に関する質問を行い、茨城マルシェの今後の取り組み、常陸国風土記を生かす取り組み、ドクターヘリの運航範囲の拡大、フラワーパークの集客の取り組み、道路維持管理予算の確保、特殊詐欺対策の今後の見通しなどを議論しました。(四・五面)

なお、防災環境商工委員会では、東海第二発電所の新規制基準への適合性確認審査申請について、日本原子力発電株式会社常務取締役などを参考人として招致し、申請内容の説明を受けた後、質疑応答を行いました。

県出資団体等調査特別委員会では、県出資団体や特別会計・企業会計の経営健全化を図るための諸方策及び保有土地対策などについて審議されました。(八面)

安全・安心を実感できる地域づくりに関する調査特別委員会では、生活に身近なところの防犯対策などの取り組みについて審議されました。(八面)

今回の定例会では、条例、人事、報告、意見書、請願などの二十三件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。



### 一般質問(要旨)

**県南地域の発展効果の  
県全体への波及**

**議員** 茨城県の人口は年々減少しているが、つくばエクスプレス(TX)沿線など県南地域では人口が増加している地域もある。県南地域の発展効果をどのように県全体へ波及させるのか。

**知事** TX沿線において引き続き住環境の整備や企業誘致などを進め、定住人口の増加を図る。その上で産業振興などを進め、「つくばスタイル」のPRによりイメージアップを図り、県南地域の発展効果を県全体に波及させるよう努める。



鈴木 亮寛 議員  
いばらき自民党  
つくばみらい市選出  
一括方式

**国際社会で活躍できる  
リーダーの育成**

**議員** グローバル社会では経済・金融の知識も大切である。国際社会で活躍できるリーダーを育成するための今後の取り組みは。

**教育長** スーパーグローバルハイスクール事業※により、グローバル人材を育成するためのカリキュラム開発の研究・実践を進めるとともに、引き続き義務教育段階から金融・経済教育を行っていくことで、さまざまな分野で国際的に活躍できるリーダーの育成に努めていく。

(ほかに、再生可能エネルギーの導入拡大、医療行政なども質問)



陽光台のまち並み(つくばみらい市)

**地域ぐるみで犯罪被害者を  
支援する社会を育む**

**議員** 本県の犯罪被害者支援対策についての周知や、被害者の精神的支援などに重要な役割を持つ、いばらき被害者支援センターへの支援をどのように行っていくのか。

**生活環境部長** 本県の犯罪被害者支援についてはさまざまな媒体による広報や講演会の開催により周知し、さらに各市町村に対し、総合的な対応窓口設置を働き掛ける。また、支援センターへの支援のため、被害者支援自動販売機の設置を一般にも広く呼び掛けていく。



戸井田 和之 議員  
無所属  
市選出  
一括方式

**インターネット社会の危険から  
青少年を守る環境を育む**

**議員** 子どもたちがインターネットを通じて犯罪に巻き込まれないよう、情報モラルに関する講習会を県内全ての小中学校で実施することや、メディア教育指導員の養成及び親に対する周知などが必要と考えるがどのように進めるのか。

**理事兼政策審議監** メディア教育指導員の計画的な養成や、県内全ての小中学校での講習会の実施に向けた働き掛け、さらに、あらゆる機会を通じ親への周知に努める。

(ほかに、農業の担い手を育む、確かな学力を育むなども質問)



被害者支援自動販売機※

### 県議会を 傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。  
本会議の傍聴(定員300名)を希望される方は県議会議事堂5階の傍聴受付で簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、是非お越しください。  
なお、手話通訳を希望される方、委員会の傍聴を希望される方、その他詳細についてお知りになりたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせください。

#### お問い合わせ先

電話 029-301-5634  
FAX 029-301-5629

### 第2回定例会の 主な日程

- 平成26年第2回定例会は、次の会期日程で開催されました。
- 6月4日(水) 本会議 (開会、知事提出議案説明)
- 6月9日(月) 本会議 (10日(火) 一般質問・質疑)
- 6月11日(水) 常任委員会 (12日(木))
- 6月13日(金) 県出資団体等調査特別委員会
- 6月16日(月) 安全・安心を実感できる地域づくりに関する調査特別委員会
- 6月17日(火) 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

### ●質問者

- 6月9日(月) 鈴木 亮寛 議員 (いばらき自民党)
- 村上 典男 議員 (いばらき自民党)
- 戸井田 和之 議員 (無所属)
- 星田 弘司 議員 (いばらき自民党)
- 6月10日(火) 石塚 仁太郎 議員 (いばらき自民党)
- 高崎 進 議員 (公明党)
- 中村 修 議員 (いばらき自民党)
- 伊沢 勝徳 議員 (いばらき自民党)



村上 典男 議員  
いばらき自民党  
笠間市選出  
一括方式

**県央地域の将来像**

**議員** 我が国の発展の一翼を担う県づくりには、県央地域の成長・発展は欠くことができない。本地域の将来像をどのように描き、振興を図っていくのか。

**知事** 企業の集積や新産業の創出、農業、地場産業の振興など産業を活性化し、人・物の交流が活発に行われる力強さと住みやすさを備えた地域としたい。地域の特性を十分に生かし、将来とも県央地域が本県をリードしていける地域となるよう全力で取り組む。

### 人工透析治療の環境整備

**議員** 年々増加する透析患者の生活の質の向上、さらには延命に向け、夜間・深夜・在宅透析の充実をはじめとした環境整備を図るべきと考えるが、今後の取り組みは、保健福祉部長 県立中央病院では、深夜・在宅透析に取り組んでおり、需要に合わせるため、施設の増築も予定している。県としてどのような取り組みが可能か、患者のニーズや医療機関の意見を聞いていく。

(ほかに、県畜産試験場跡地の利活用、窯業指導所の今後の在り方なども質問)



人工透析治療環境の充実を



星田 弘司 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出  
分割方式

**新県立特別支援学校整備計画のポイント**

**議員** 新整備計画策定のポイント、特につくば特別支援学校の過密解消策は。

**教育長** 計画策定の最大のポイントは不足教室対策であり、児童生徒数の将来推計などを考慮しつつ、効率的な計画となるよう、さまざまな点から検討を進め、全力で取り組む。また、つくば特別支援学校の過密解消への対応は最優先の検討課題であるため、増築や分離、通学区変更なども含め、さまざまな方法を検討していく。

### つくば市総合運動公園 プロジェクトへの支援

**議員** つくば市で大規模な総合運動公園構想が進んでいることに対し、県はどのように捉え、どのような支援を考えているのか。

**知事** 県が推進する「活力ある生涯スポーツ社会の形成」に大きな役割を果たすものと期待している。市の基本計画策定委員会での情報提供や意見交換のほか、施設整備に関する補助金確保に向けた国などへの働き掛けや完成後の各種大会の誘致などを支援していく。

(ほかに、放課後児童健全育成事業の推進、領土教育なども質問)



つくば特別支援学校(つくば市)

※【スーパーグローバルハイスクール(以下「SGH」)事業】…平成26年度からの文部科学省の新規事業。企業、大学等と連携を図り、国際社会で活躍できる人材の育成に取り組む高校をSGHに指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践等に取り組む。

※【被害者支援自動販売機】…飲料水などの売上のうち1本当たり2円程度が被害者支援のために寄付される自動販売機のこと。平成26年4月1日現在、県内で37台設置されている。



### 一般質問(要旨)



議員 石塚 仁太郎  
いばらき自民党  
坂東市選出  
一括方式

#### 道路インフラの老朽化対策

議員 橋長十五メートル以上の橋については、長寿命化修繕計画が策定され補修が実施されているが、十五メートル未満の橋や歩道橋なども老朽化が懸念される。今後、どのように対策を進めていくのか。  
知事 橋長十五メートル未満の橋や歩道橋などについても、昨年度から点検を実施しているところであり、今年度は、点検結果に基づき、施設ごとに維持管理計画の策定に着手し、安全性の確保に努めていく。



議員 高崎 進  
明市選出  
戸市選出  
一括方式

#### 「エンジン01文化戦略会議 オープンカレッジ」の誘致

議員 茨城の魅力発信や文化・芸術を核とした地域活性化、原発事故による風評被害の払拭を図るため、日本を代表する文化人が集い、地域の方と交流を行う「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ」を水戸市に誘致してはどうか。  
知事 オープンカレッジの開催は県にとっても大変有意義と考える。エンジン01文化戦略会議における本県ゆかりの会員の協力も得ながら、引き続き、水戸市と一体となり、早期実現に向け取り組む。

#### ブラック企業問題への対応

議員 大きな社会問題となつているブラック企業問題に対し、県としてどのように対応していくのか。  
知事 大きな社会問題となつているブラック企業問題に対し、県としてどのように対応していくのか。センターにおいて、被害者からの相談に対し、解決に向けた助言を行うとともに、高校三年生全員へ労働基準関係法令を解説したパンフレットを配布するほか、新たに若者向けセミナーを開催するなど、情報提供・啓発を進めることにより、被害の未然防止を図っていく。  
（ほかに、県道猿島常総線、県道中里坂東線の整備なども質問）



橋の点検の様子

#### ドクターヘリの運航体制の充実

議員 大雪に備え、ドクターヘリの離着陸場所の除雪対応の在り方の検討やその補完的な役割として防災ヘリによる医師のピックアップ搬送の体制を整える必要がある。今後、ドクターヘリの運航体制をどのように充実させていくのか。  
保健福祉部長 あらかじめ優先的に除雪する離着陸場所を定めておくよう、全ての消防本部に対して周知する。防災ヘリについては、救急現場でより有効に活用できるように関係者と検討する。  
（ほかに、後発医薬品の普及拡大と残薬の有効利用、県営住宅の手すりの整備なども質問）



命を守るため空に飛び立つドクターヘリ



議員 中村 修  
いばらき自民党  
取手市選出  
一括方式

#### 茨城農業改革大綱を踏まえた今後の施策展開

議員 平成二十三年度に策定した茨城農業改革大綱における目標達成に向けた今後の施策展開は。  
知事 「消費者のベストパートナー茨城農業」の確立を目指し、食料・農業・農村の三つの分野におけるこれまでの各施策の展開に加えて、担い手への農地集積と集約化の一層の推進や農産物の付加価値向上を図る六次産業化のほか、ジェトロ茨城を活用した農産物の輸出促進など茨城農業改革を着実に推進していく。

#### 知的障害者入所施設の充実

議員 知的障害者の支援強化や保護者などの負担軽減を図るため、施設の新設など入所施設の充実にどう取り組むのか。  
保健福祉部長 知的障害者とその保護者の方々が安心して暮らせるよう障害の程度や入所施設の利用状況などの調査・検証を行い、必要な場合には施設の定員増の働き掛けや、新設の補助対象化についての国への要望などを行う。  
（ほかに、公立学校施設の長寿命化、公共事業における入札の不調・不落地問題への対応なども質問）



輸出拡大が期待される本県産メロン(イバラキング)

#### 地域振興拠点づくりに向けた土浦港の活用

議員 土浦港及びその周辺地区の活性化に向け、土浦港の指定管理者制度の導入をどのように進めていくのか。  
土木部長 来年度から指定管理者による管理を始めたいと考えており、これにより、民間のノウハウなどを生かしたさまざまな事業を展開することで、港の魅力向上と利用促進が図られることが期待される。  
（ほかに、新エンゼルプラン21の改定、高齢者の就労支援、女性警察官の活躍促進に向けた取り組みなども質問）



さらなる魅力向上が期待される土浦港(土浦市)

#### 今定例会で可決された主な議案

- 議員提出
  - 「農林水産業・地域の活力創造プラン」改訂にあたり慎重に対応することを求める意見書
  - 公務員獣医師の処遇改善を求める意見書
- 知事提出
  - ほか二件
- ◆条例の制定
  - 茨城県いじめ再調査委員会条例
  - 茨城県県税条例等の一部を改正する条例
- ◆条例の一部改正
  - 茨城県核燃料等取扱税条例の一部を改正する条例
- ◆報告
  - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
- ◆人事
  - 副知事の選任について

#### 可決された意見書

- 「農林水産業・地域の活力創造プラン」改訂にあたり慎重に対応することを求める意見書
- 「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
- 公務員獣医師の処遇改善を求める意見書

#### 採択された請願

- ◆総務企画委員会
  - 公務員獣医師の処遇改善等に関する請願
  - 保健福祉委員会
    - 「こころの健康」の推進に関する基本法(仮称)の制定を求める意見書の提出に関する請願
    - 農林水産委員会
      - 規制改革会議農業ワーキンググループ「農業改革に関する意見」に関する請願
- ◆県内の動物愛護の進展に関する請願
- ◆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

#### 決算特別委員会を設置しました

平成二十五年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算及び同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、六月十日の本会議において、十五名の委員で構成する決算特別委員会を設置しました。選任した委員は次のとおりです。

委員長	飯岡 英之	委員	静馬	委員	星田 弘司
副委員長	伊沢 勝徳	委員	村上 典男	委員	齋藤 英彰
委員	山岡 恒夫	委員	萩原 勇	委員	川口 政弥
委員	福地源一郎	委員	島田 幸三	委員	高崎 進
委員	荻津 和良	委員	下路健次郎	委員	大谷 明



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

### 茨城マルシェの今後の取り組みは

### 本県のイメージをPRできる 弁当の販売を検討する

**問** 今年度から茨城マルシェの委託先が変わったが、本県の魅力発信につながるような地域色のある弁当を販売してはどうか。

**答** 昨年度、茨城マルシェにおいて弁当を販売した経緯があることから、その際の実績やニーズなどを踏まえ、今後検討していく。

**問** 外国人県民が地域の一人として共生することができるよう実施している「外国人子ども支援拡充事業」について教育庁とどのように連携していくのか。

**答** 同事業は、外国人の子供たちに対して日本語を教えるボランティアの育成などを行う事業であり、そこで養成したボランティアの活用について教育庁へも働き掛けを行っていく。

**問** 県税収入未済額縮減のための新たな取り組みである個人県民税特別徴収の「一斉指定」実施に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 個人県民税の徴収確保のため、全市町村同意のもとに平成二十七年から原則全ての事業主に特別徴収を行っていただく取り組み、いわゆる

「一斉指定」を県内全市町村で実施することとしている。現在、円滑な実施に向け周知徹底に努めており、事業主などの協力を得ながらしっかりと取り組んでいく。

**問** 日本創成会議が発表した将来推計人口において、県内十八の市町村が消滅の可能性があるとされた。定住人口確保に向けた県の今後の対応は。

**答** 推計結果は非常に衝撃的なものであった。働く場の確保や出会いサポートセンターによる結婚支援など総合的な対策が必要であり、来年度の予算編成に向けて検討していく。

(ほかに、いじめ再調査委員会、畜産試験場跡地の利活用なども質問)



県アンテナショップ「茨城マルシェ」(東京・銀座)

## 防災環境商工委員会

### 常陸国風土記千三百年記念事業の今後の取り組みは

### 風土記ゆかりの地のマップを作成する

**問** 平成二十五年は風土記編さんの詔が出されてから千三百年に当たり、市町村と連携して常陸国風土記に関する多くのイベントなどを実施したが、今年度の取り組みは。

**答** 昨年度は市町村などに協力いただき、九十三事業を実施した。平成二十六年度は風土記ゆかりの地を訪れていただけのよう、ゆかりの地を紹介するマップを作成する。

**問** 災害時や林野火災などで活躍する防災ヘリだが、本県の防災ヘリが使用できない場合の広域応援体制は。

**答** 本県の防災ヘリの点検整備時や他の災害活動事案に対応中で出動できない場合などを想定して、近隣県と「航空消防防災相互応援協定」などを締結しており、さらに国の要綱や消防組織法に基づく応援体制も整っている。

**問** 六月に中小企業などが国際的に事業を展開する際に利用できる、茨城貿易情報センター(ジェットロ茨城)※が本県水戸合同庁舎に開設されたが、中小企業に対してどのように周知利用促進に取り組むのか。

**答** ジェットロのホームページ

などで周知するとともに、ジェットロ茨城の所長が四月から市町村など六十箇所以上で事業説明を実施してきた。今後も、市町村や商工会などを通じて企業への周知を図っていく。

**問** 大卒等未就職者人材育成事業の実施状況は。

**答** 平成二十五年度は二百四名が事業に参加し、そのうち就職決定者数は百八十一名であった。平成二十六年度は二百名の定員に対して、現在百八十九名が事業に参加している。定員に達していないので、引き続き募集を実施していく。

(ほかに、東海第二発電所の適合性確認審査申請、海外からの誘客促進なども質問)



常陸国風土記ゆかりの地の一つである玉清井(行方市)

## 保健福祉委員会

### 福島県との連携が始まった ドクターヘリの運航範囲の拡大は 連携効果の検証とあわせて、 今後検討していく

**問** ドクターヘリ運航については、福島県との連携が始まったが、今後、対象地域の拡大を検討するべきと考えられているか。

**答** 福島県との間では、対象地域の拡大について、今後の協議課題としていくところである。今回の福島県との連携は六月一日に始まったばかりであり、現時点では運航実績がないため、今後、今回の連携の効果の検証とあわせて、方針を決定していきたい。

**問** 本県は歯周病の重症者が多いなど状況がよくない。歯科保健を推進するため、市町村担当者向けに事業実施マニュアルを作成してはどうか。

**答** マニュアルの作成は今後の検討課題としたい。県では、第二次健康いばらき21プランの説明や、歯科保健の重要性を理解してもらう研修などを行い、市町村の事業実施を支援している。

**問** 認知症の人とその家族を支えていくことが大切である。家族の集いは水戸とつくばで開催されているが、県として何らかの支援ができないか。

**答** 水戸開催分については、県が委託して実施している。



福島県との連携が始まったドクターヘリ

本年度は福祉団体等支援事業費補助金を使い、鹿行地域などでも開催していきたい。今後も多くの市町村で開催されるよう働き掛けたい。

**問** 健康寿命の延伸は、個人の幸せにつながることも、医療費の抑制にもなる。長寿の達成には多様な要因があり、県民総ぐるみの健康づくり運動が必要だが、本県では健康寿命の延伸が可能か。

**答** 高齢化が進む中、社会参加などが重要である。また、生活習慣病対策、特に健康教育が必要である。これらをしつかりと行うことにより、健康寿命の延伸が可能と考える。(ほかに、AED普及への取り組み、県立病院の医師不足なども質問)



農林水産委員会

フラワーパークの新たな  
集客の取り組みは  
二千平方メートルの庭園式  
バラ園の整備を進めている

問 県フラワーパークは県花  
バラの東日本有数のテーマ  
パークである。県のイメージ  
アップのためにも、現在のガー  
デニングブームを生かした集  
客の取り組みができないか。  
答 現在、リニューアル事業  
の中で、新たに二千平方メー  
トルの庭園式バラ園の整備を  
進めている。今後、専門家の  
助言を受けながら、庭園の造  
作や品種など見せ方の工夫も  
していく。



茨城県フラワーパーク(石岡市)

問 今年度「いばらき農林水  
産物ブランドディングビジョ  
ン」が取りまとめられたが、  
今後、どのようにブランド力  
向上を進めていくのか。  
答 PRの顔となる重点品目  
には、常陸牛のように歴史が  
あるものから、梨の「恵水」  
のように新しいものまである  
ので、今後、産地と一緒になっ  
て各品目の状況に合わせた行  
程表をつくり、具体的な取り  
組みを進めていく。  
問 イチゴの県オリジナル品  
種「いばらキッス」を特産品  
に育てるため、今後どのよう  
に生産者への普及を図ってい  
くのか。  
答 普及員や専門技術指導員  
などによるチームをつくり技

術指導を行うほか、生産技術  
や販売状況の情報紙を発行し  
て生産者間の情報共有に努め  
ている。品質の高いものを生  
産していくことで評判を高め、  
普及を図っていく。  
問 霞ヶ浦の水質保全のため、  
霞ヶ浦流域における農業集落  
排水施設の整備を今後どのよ  
うに進めていくのか。  
答 事業主体である市町村へ  
早期の事業着手を助言するほ  
か、国の交付金なども活用し  
て整備の進捗を図る。また、  
市町村と連携して未接続世帯  
に対する戸別訪問や啓発活動  
などを行い、整備した施設の  
利用を促進していく。  
(ほかに、本県産農林水産物  
の輸出拡大、豚流行性下痢(P  
ED)対策なども質問)

土木企業委員会

道路施設の老朽化や危険箇所の  
安全対策を推進すべき  
維持管理予算の確保と効率的な  
執行に努め、対策推進を図る

問 道路施設の老朽化対策や  
危険箇所の改善に必要な維持  
管理予算を確保し、安全対策  
の推進を図るべきと考えるが。  
答 公共事業費は年々減少し、  
厳しい状況ではあるが、橋  
りょうのメンテナンスなど、  
道路維持管理の重要性から、  
今年度については、昨年度を  
やや上回る予算を確保してい  
る。限られた予算の中で、よ  
り効率的な執行に努め、対策  
推進を図っていく。  
問 五月に行われたベトナム  
のポートセールスを踏まえ、  
今後の港湾振興の取り組みは。  
答 船会社、国の機関、邦人  
企業など、いずれの訪問先で  
も利用促進に前向きな対応を  
いただき有意義であった。ベ  
トナムとの物流増加をチャン  
スと捉え、今回の訪問での人  
脈を生かし、茨城の港の利用  
促進、航路の維持拡充に努め  
ていく。  
問 借入額削減部の梅の苗木  
に、ウメ輪紋ウイルスが確認  
されたが、本園創設時から残  
る梅を含め貴重な梅が絶滅す  
ることのないよう対応すべき。  
答 感染木が確認された苗木  
の全ての苗木を処分し、ウイ  
ルスを経済するアブラムシの

防除を行っており、五月の調  
査で感染は確認されていない。  
併せて公園外からの梅の持ち  
込みを制限するとともに、種  
の保存のため、今後、苗木を  
整備して後継木を育てていく。  
問 同じ県の水を購入してい  
るにも関わらず、水道用水供  
給事業の違いにより、料金額  
差が生じている。格差の解消  
を図るべき。  
答 県保健福祉部策定の水道  
整備基本構想では、将来的に  
事業統合を進め、料金額差の  
解消を図るとされている。企  
業局としても、借入金金の早期  
償還などの経営努力により、  
料金額差の縮小に努めていく。  
(ほかに、入札不調対策、技  
術系職員確保の取り組みなど  
も質問)



道路施設の適切な維持管理を推進  
(左)対策前(右)対策後

文教警察委員会

特殊詐欺対策を県内金融機関に  
要請したと聞くが、今後の見通しは  
実施可能な金融機関から  
順次対応いただく予定

問 特殊詐欺の対策として、  
県警は県内の七金融機関に向  
け、高齢者の高額現金の引き  
出しに対し、預金小切手での  
対応を要請し、その結果、一  
つの金融機関において実際に  
実施していると聞いていますが、  
今後の見通しは。  
答 金融機関に一斉に実施し  
ていただくのが理想ではある  
が、各金融機関の事務、体制  
の違いなど、実施に当たって  
は課題もあるため、実施が可  
能な金融機関から順次対応し  
ていただくこととしている。  
問 犯罪白書によると再犯者  
率が上昇している。出所後の  
支援についてどのように考え  
ているのか。  
答 昨年、検察庁と保護  
観察所が連携し、犯罪を繰り返  
す被疑者、起訴猶予処分が  
見込まれる者に対して、住居  
の確保や福祉サービスを行う  
更正緊急保護の試行が行われ  
ており、県警も積極的な協力  
を検討していく。  
問 五年後に開催予定の茨城  
国体について、選手の強化な  
どにどのように取り組んでい  
るのか。  
答 国体開催に向けて、県全  
体で総力をあげて取り組んで

いるところである。優秀な選  
手の確保については、競技力  
向上対策本部委員会での意見  
を参考に、積極的に企業と連  
携して選手育成に取り組んで  
いく。  
問 いじめが重大な事態とな  
らないようにするための対応  
は。  
答 まずは学校においていじ  
めが発生しないよう対応し、  
発生しても早期発見により重  
大な事態にならないように努  
める。また、三十三の関係機  
関団体などにより構成した茨  
城県いじめ問題対策連絡協  
会を活用し、県民一丸となっ  
ていじめ防止に努めたい。  
(ほかに、小中学校の統廃合、  
結城特別支援学校の専門学科  
設置なども質問)



振り込め詐欺等被害防止緊急対策会議の様子



# 委員会活動

※「いばキラTV」(<http://ibakira.tv>)で  
委員会の県内調査の様子を配信しています。  
詳細は県議会ホームページでご確認ください。

PR戦略」に基づき、各委員会で個別の審査テーマを設定し調査に取り組んでいます。

## 総務企画 委員会

### 県北地域の誘客促進と最先端科学技術を活かした取り組みを調査 (5/21)

総務企画委員会(福地源一郎委員長)の個別審査テーマ:「最先端の科学技術を活かした取り組み」「豊かな自然や食資源等を活かした取り組み」「交通インフラを活かした取り組み」

#### 竜神大吊橋(常陸太田市)

常陸太田市では、竜神大吊橋において今年の3月から新たにバンジージャンプというスポーツ観光を取り入れ、県北地域の誘客促進と地域の活性化を図っています。開始以来、順調に伸びている渡橋者数や物産センターの売り上げ状況、また今後の計画などについて調査しました。

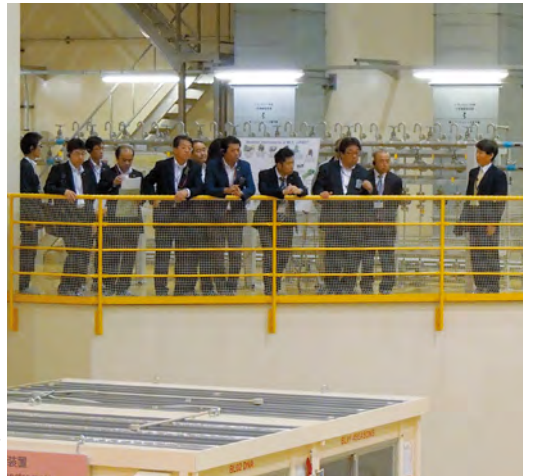


バンジージャンプを活用した地域の活性化について説明を受ける委員

なお、当日は、神達岳志委員と外塚潔委員の2人が、日本最大級(高さ100メートル)のバンジージャンプを実際に体験しました。

#### J-PARC(大強度陽子加速器施設)(東海村)

日本原子力研究開発機構と高エネルギー加速器研究機構が共同で建設・運営している世界最高性能の研究施設であるJ-PARCについて、施設の概要などを調査しました。



県が保有するビームラインを視察する委員

また、今年2月に実験を再開した物質・生命科学実験施設において、県が保有するビームラインなどの実験内容について、説明を受けました。

### 空き店舗を活用したまちの活性化の取り組みと霞ヶ浦の水質浄化を調査 (5/23)

## 防災環境商工 委員会

防災環境商工委員会(横山忠市委員長)の個別審査テーマ:生活環境部関係「茨城の文化の発信強化」、「魅力ある水辺環境づくりの推進」、商工労働部関係「おもてなしによる観光客の受入推進」、「地域資源を活用した取り組み(観光客誘客、特産品の開発・PR)」

#### チャレンジショップ 鹿嶋人ギャラリー(鹿嶋市)

鹿嶋人ギャラリーは、空き店舗を活用した手芸品販売や、鹿嶋を紹介する情報の発信を通じまちの活性化を図るとともに、歴史と伝統ある文化財や豊かな自然に触れるウォーキングコース「鹿嶋 神の道」を運営しており、これらについて調査を行いました。



情報発信によるまちの活性化について説明を受ける委員

#### 国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所(潮来市)

霞ヶ浦河川事務所における霞ヶ浦の水質浄化の取り組みについて説明を受けた後、武田川ウエットランド※の調査を行いました。



武田川ウエットランドを調査する委員

## 保健福祉 委員会

### ジェネリック医薬品と介護予防事業を調査 (5/14)

保健福祉委員会(鈴木亮寛委員長)の個別審査テーマ:「県立病院を中心とした高度・先進的ながん医療の取り組み」、「シルバーリハビリ体操やヘルスロードの活用等による健康寿命の延伸」

#### 日本薬品工業株式会社(稲敷市)

日本薬品工業株式会社では、医薬品製造業許可を取得し、ジェネリック医薬品(後発医薬品)※を製造しています。また、同社の茨城工場内には、研究開発部門と物流部門が設置され、一般用医薬品や健康食品の製造も行っています。

ジェネリック医薬品の製造などについて説明を受けた後、施設内を調査しました。



ジェネリック医薬品の製造工程などの説明を受ける委員

#### シルバーリハビリ体操(つくばみらい市)

つくばみらい市では、シルバーリハビリ体操を介護予防の中心に据えて介護予防事業に取り組んでいます。

シルバーリハビリ体操を取り入れた介護予防事業などについて説明を受けた後、1級指導士による3級指導士養成講習会を視察するとともに、実際に体操に参加しました。



シルバーリハビリ体操を体験する委員

ことば ※【ウエットランド】…湖に流入する支川の有機物質や汚濁物質を、湖に流入する前に一時的に貯留、沈殿させる施設。  
※【ジェネリック医薬品(後発医薬品)】…先発医薬品の特許が切れた後に、それと同じ有効成分で製造・販売される医薬品。



# 閉会中の

## 平成26年の常任委員会共通の重点テーマ「茨城のイメージアップにつながる魅力発見と

### 農林水産委員会 焼き芋を通じた産地づくりや海岸防災林の松枯れ被害状況などを調査 (5/12)

農林水産委員会(村上典男委員長)の個別審査テーマ:「豊富な農林水産物のPRと販売促進」、「県オリジナル品種の普及拡大と新品種・新技術の開発」、「拡大する耕作放棄地の解消」

#### なめがた農業協同組合(行方市)

なめがた農業協同組合の甘藷(かんしょ)部会では、美味しさを追求した甘藷の栽培や貯蔵施設の整備などによりしっとりとして、糖度の増した甘藷を通年で安定的に出荷する体制を確立するとともに、焼き方にこだわった美味しい「焼き芋」の販売に取り組むことで産地をPRし、販売額を伸ばしています。

これまでの取り組みについて説明を受けた後、平成24年度に整備した定温・定湿度管理できる貯蔵施設を調査しました。



甘藷貯蔵施設を視察する委員

#### 神栖市海岸防災林(神栖市)

津波被害などに対して減災効果の高い海岸防災林について、松くい虫被害などにより松枯れが生じてその機能が低下しているため、県では、被害木の伐採や広葉樹植栽による樹種転換を図るとともに、被害予防のための薬剤散布を実施しています。今回、神栖市海岸防災林の松枯れの現況や植栽の状況などについて現地調査を行いました。



海岸防災林の状況の説明を受ける委員

### 土木企業委員会 偕楽園公園や一般県道藤沢荒川沖線バイパス整備事業などを調査 (5/19)

土木企業委員会(館静馬委員長)の個別審査テーマ:「集客・観光につながる県土づくり」

#### 偕楽園公園整備事業(水戸市)

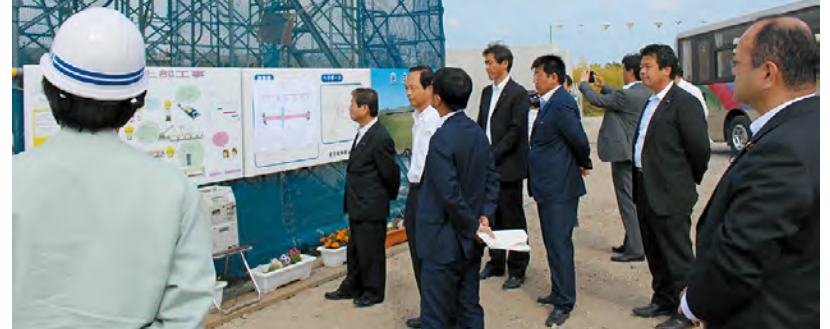
東日本大震災を踏まえ、耐震性貯水槽や非常用照明等の整備により、広域避難場所としての防災機能の強化が進められた同公園において、さらなる魅力向上を図るために今年度実施予定の表門周辺整備・もみじ谷園路広場整備などの状況について、現地調査を実施しました。



偕楽園公園にて整備状況の説明を受ける委員

#### 一般県道藤沢荒川沖線バイパス整備事業(土浦市・つくば市)

土浦市とつくば市の連携強化と地域の利便性に寄与し、防災拠点としても重要な施設であるつくばヘリポートへのアクセス性向上などを図る同事業について、桜川にかかる(仮)新桜橋の工事箇所にて説明聴取を行い、現地調査を実施しました。



橋りょうの整備状況の説明を受ける委員

### 文教警察委員会 ものづくり人材育成の取り組みや交通マナー向上対策などを調査 (5/8、5/22)

文教警察委員会(萩原勇委員長)の個別審査テーマ:「教育庁関係「茨城のイメージアップにつながる教育施策と今後のPR戦略」、警察本部関係「交通マナーの向上対策」「県・自治体、地域住民及びボランティア等との連携推進」

#### つくば工科高等学校(つくば市)

つくば工科高等学校は、産業技術の進展や地域の要請に応じたものづくり人材育成を図るため、本年度入学生からは従来の3学科から4学科に改編しました。中でも、ロボット工学科は他にあまり例のない学科であり、今回の調査では、音を感知して作動するロボットや人間の腕の動きに合わせて同じように動くロボットなどについて同学科の生徒から説明を受けるなどしました。



生徒からロボットについて説明を受ける委員

#### 首都高速道路株式会社西東京管理局(東京都)

首都高速道路では毎年1万件を超える交通事故が発生しており、事故を減らし事故による渋滞の解消などを図るため、平成19年から東京スマートドライブプロジェクトを発足させました。

これは、他人に配慮する運転をしようという取り組みで、褒める、シェアする、楽しむをキーワードに展開されており、その運動の輪は全国的に広がりを見せています。その状況の説明を受けるとともに、管制室の調査を行いました。



管制室の調査をする委員



### 関東甲信越一都九県議会議長会に出席しました

五月十三日、新潟市内のホテルにおいて「関東甲信越一都九県議会議長会」が開催され、本県議会から飯塚秋男議長及び菊池敏行副議長が出席しました。会議では各都県が国へ対応を求める要望事項十件を審議しました。本県の飯塚議長は、防犯カメラ設置促進のための必要な措置の要望を提言しました。

各都県から提出された議案は全て原案どおり採択され、七月開催予定の全国都道府県議会議長会定例総会において、関東甲信越ブロックの議題として提出されるとともに、国会及び政府関係機関へ要望することが決定されました。



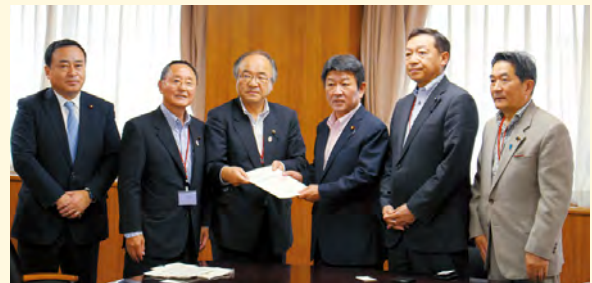
本県の提出議案を説明する飯塚秋男議長(左側は菊池敏行副議長)

### 原子力発電関係道県議会議長協議会が開催され、原子力発電の安全確保に関する要請書を国に提出しました

本県を含む原子力発電関連施設が立地する、十三道県議会議長の議長で構成される「原子力発電関係道県議会議長協議会」が五月二十三日に開催されました。

定期総会終了後、会長である本県の飯塚秋男議長を中心に、茂木敏充経済産業大臣をはじめ細田博之自民党幹事長代行、池田克彦原子力規制庁長官を訪問し、原子力発電の安全確保に関する要請書を提出しました。

要請において、飯塚議長は原子力発電の位置付けについて「国が責任をもって国民に説明し、理解を得ていただき



茂木敏充経済産業大臣(右から三人目)に要請書を手渡す飯塚秋男議長(左から三人目)

### 情報委員会が福井県議会において「いばらきの魅力」をPRしました

情報委員会(荻津和良委員長)では、五月二十六日の福井県議会における県外調査に際し、今年の常任委員会活動の重点テーマである「茨城のイメージアップにつながる魅力発見とPR戦略」の取り組みとして、委員会の先頭を切って本県の魅力をPRしました。

笹岡福井県議会議長を訪問し、本県の魅力を紹介する飯塚秋男議長からの親書を手渡し、来県を呼び掛けるとともに、生産量日本一を誇る本県の美味しいメロン(イバラキング)を贈呈しました。

笹岡議長は、「県議会が県の魅力を上げようと奮闘する姿に深く感銘を受けた。茨城空港の視察



笹岡議長に議長からの親書を手渡す荻津委員長(右側)

### 東京オリンピックを踏まえた観光地域づくりについでに講演会を開催しました

六月十七日に「東京オリンピック・パラリンピックを踏まえた観光地域づくり」と題して、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。

講師には、観光立国の実現を目指す、全国の魅力ある観光地域づくりに先頭に立って取り組んでいる国土交通省観光庁の川瀧弘之観光地域振興課長をお招きしました。

川瀧課長からは、「台湾、香港からの日本への来訪客の多くはリピーター。近隣諸国は、近い将来国内旅行者と同等のターゲット層になる。これまでの観光スポット・観光施設巡りだけ

ではなく、来訪者が地域を回遊し、滞在時間を増やす取り組みや地域を愛する人たちと来訪者がふれあうことでリピーターを確保する取り組みが不可欠」などの観光地域づくりにつながる貴重な講話をいただきました。



川瀧観光地域振興課長による講演会の様子

## お知らせ

次回の、平成26年第3回定例会は、9月1日から25日までの25日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
9.1	月	議会運営委員会、本会議(開会、知事提出議案説明)
2	火	休会(議案調査)
3	水	休会(議案調査)
4	木	議会運営委員会、本会議(代表質問・質疑)
5	金	議会運営委員会、本会議(代表質問・質疑)
6	土	
7	日	
8	月	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
9	火	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
10	水	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
11	木	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
12	金	休会(常任委員会)
13	土	
14	日	
15	月	(敬老の日)
16	火	休会(常任委員会)
17	水	議会運営委員会、本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
18	木	休会(決算特別委員会)
19	金	休会(予算特別委員会)
20	土	
21	日	
22	月	休会(安全・安心を実感できる地域づくりに関する調査特別委員会)
23	火	(秋分の日)
24	水	休会(県出資団体等調査特別委員会)
25	木	議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会)

### 県出資団体等調査特別委員会 県出資団体や特別会計・企業会計の経営健全化を図るための諸方策及び保有土地対策などについての調査・検討を行っています

第一回定例会で設置された本委員会(西條昌良委員長)は、これまでに三回開催され、県出資団体や特別会計・企業会計の経営健全化に向けた改革の進捗状況及び今後の在り方のほか、県財政への影響が大きい保有土地の現状と対策について調査・検討を行いました。

引き続き、県財政の健全化に向け調査・検討を行う予定です。

### 安全・安心を実感できる地域づくりに関する調査特別委員会 生活に身近なところの防犯対策などの取り組みについて調査・検討を行っています

第一回定例会で設置された本委員会(白田信夫委員長)は、これまでに四回開催され、身近な犯罪である侵入盗や自動車盗、あるいは、子ども・女性・高齢者に係る犯罪に関する防犯対策などの取り組みについて調査・検討を行いました。

引き続き、県民が安全・安心を実感できるよう調査・検討を行う予定です。